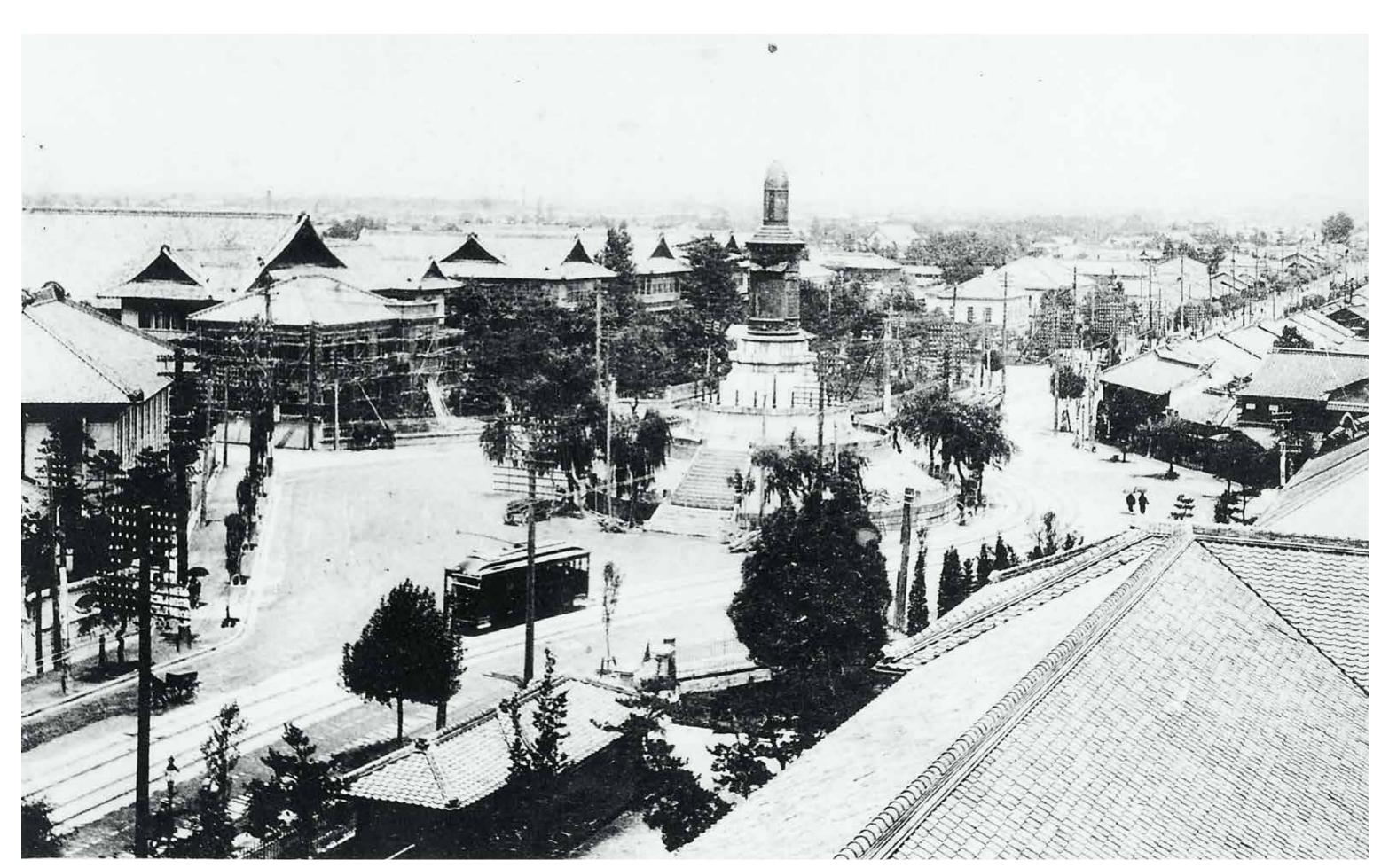
当時 の官庁街 周辺 ちなみ (現在地付近から北東方面)

が集まっていました。の中区役所の位置に移転されました。こののでは、当時愛知県や名古屋市の官庁の中区役所の位置に移転されました。このた旧名古屋市役所が火災で焼失しましあった旧名古屋市役所が火災で焼失しまし 明治四十年(一九〇七)、広小路の栄町に

区所の一部で、広小路通と武平通の交差点の左の写真の手前に見える屋根は名古屋市

現在地に移転するまで使用されました。屋市役所は昭和八年(一九三三)、三の丸の気鉄道株式会社の「チンチン電車」と呼ばれの戦死者記念碑がおかれ、その脇を名古屋電舎がありました。交差点の中心には日清戦争北東には西から愛知県会議事堂、愛知県庁



現在地付近から北東を見た、明治末期から大正初期頃の官庁街。手前に見える屋根は名古屋市役所の一部。 県会議事堂前の建物は県庁別館。(写真提供 名古屋市市長室広報課)



現在地付近から南を見た、かつての名古屋市役所。(写真提供 名古屋市市長室広報課)